

■風見章 近衛文麿から書記官長に抜擢され政権中枢で活動、戦後は、戦争責任を自覚して180° 転換、社会党軸に平和活動。

かざみあきら

帝国大学始・1886＝ 茨城県水海道町高野で農家風見力三郎・ぬいの二男三女の末子に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

日清戦争始・1894＝ 8歳：

日清戦争終・1895＝ 9歳：

子規句歌革新1898＝12歳：土浦中学校に最年少で入学。  
家からの距離が遠かったため

ピアノ国産化・1900＝14歳：下妻中学校に転校するが、  
禁令を無視して野球試合観戦に行き、その首謀者の取調べをしようとした校長への排斥運動に加わり、

教科書疑獄・1902＝16歳：放校処分になったため、上京して英語学校に通い、大宝村に詩人横瀬夜雨を訪ねるなどするうち、

日比谷公園・1903＝17歳：水海道中学校が新設され、母の奔走で三年に編入。やがて友人もでき、

日露戦争始・1904＝18歳：

日露戦争終・1905＝19歳：卒業、早稲田大学高等予科に入学。雄弁会に所属して、**中野正剛**、**緒方竹虎**と終生の友になるとともに、  
彼らと一緒に**入った称好塾**で、**塾長杉浦重剛**から大きな影響を受ける。

韓国反日暴動1907＝21歳：南天棒のもとに参禅。

アヲキ創刊・1908＝22歳：本科に進み、政治学を専攻。

伊藤博文暗殺1909＝23歳：卒業、一年志願兵で2字都宮砲兵隊に入隊後、

大逆事件判決1911＝25歳：東京市電気局長安藤安太郎の秘書になる。

明治天皇没・1912＝26歳：

大正政変・1913＝27歳：大阪朝日新聞に入社、外報部記者になる。

ロシア革命・1917＝31歳：父が死去。

第一次大戦終1918＝32歳：世界情勢の変化に刺激されたのか、突然、大阪朝日を退社し、

ベルリン条約・1919＝33歳：国際通信記者になるが、妻の病気などもあって、

原敬首相暗殺1921＝35歳：やむをえず退社、上京して雑司が谷に移住。

水平社結成・1922＝36歳：\_{信濃毎日新聞}の特約寄稿家になるや、杉浦重剛の分身ともいえる社長小西順造の目にとまり、

関東大震災・1923＝37歳：**主筆に招かれ、妻子を連れて長野に着任。関東大震災**取材して、**朝鮮人暴動説**を真っ向から否定、

護憲三派圧勝1924＝38歳：恩師杉浦重剛が死去。\_普通選挙の即時実施の論説を掲げ、

金融恐慌・1927＝41歳：\_製糸女工らのストを応援、「マルクスについて」を連載するなど、めざましい活動をするが、「共産党宣言」  
を紹介して信濃毎日が非難されるようになり、迷惑をかけたくないと思いだしたところ、

共産党事件・1928＝42歳：**盟友中野正剛**から初の普選となる総選挙への出馬を勧誘され、信濃毎日を退社して上京、郷里のある茨城3  
区から民政党公認で出馬するも、落選。郷里の農村地帯を精力的にまわって座談会行脚するうち、

海軍軍縮条約1930＝44歳：**\*強力な支援者となる斎藤茂一郎**と出会い、次の総選挙で立憲民政党から**トップ当選**。浜口内閣内相で**選挙  
の神様**安達謙蔵の推薦により、首相補佐を務め筆力になり、すぐに信任を得るが、

満州事変・1931＝45歳：実母が死去。\_浜口の死や満州事変に衝撃を受け、安達謙蔵が提唱する国民内閣(大連立)への声明を起草。

五一五事件・1932＝46歳：五一五事件で殺された犬養首相の方が悪いというように国民のモラルは崩壊し、\_総選挙で再当選するも、  
協力内閣の話はご破算、安達謙蔵らと民政党を脱党し国民同盟を結成。野人政治家として注目され、

国際連盟脱退1933＝47歳：**衆院予算委員会総会で、斎藤首相はじめ居並ぶ閣僚らの肝を冷やす演説をして、一気に評価が高まる。**

帝人疑獄事件1934＝48歳：議会でも斎藤内閣の無策を追究。東京東大崎の斎藤茂一郎邸を譲り受ける。

二二六事件・1936＝50歳：総選挙で連続当選。戒厳令のもと、議会で広田内閣を痛撃、予算委秘密会では陸相寺内を追究。大陸各地を  
視察して古い中国観を一新し、昭和研究会で中国問題研究会の委員長。国民同盟を離れて無所属となり、

日中戦争始・1937＝51歳：総選挙で連続当選。**大命降下を受けた近衛文麿とは全く面識が無かったにもかかわらず、内閣書記官長に  
抜擢される。盧溝橋事件が勃発し、現地解決を図ろうとするも、近衛が軍の意向に押されてしまい失敗。**

総動員+健保 1938＝52歳：板垣征四郎への破天荒な工作を試みるなど、何とか戦争拡大を止めようとするが、流れには抗せず、

第二次大戦始1939＝53歳：義母(兄嫁)貞が死去。近衛内閣は退陣、無所属の一代議士になるが、

大政翼賛会・1940＝54歳：今度は、有馬頼幸らと近衛を立てるべく、自ら名づけた**\*新体制運動を開始。「日本ヲ革新セントセバ一切ノ  
既成勢力ヲ打倒スルヲ要ス」**の言で、第二次近衛内閣が成立すると法相に迎えられるが、三国同盟をめぐり

日米開戦・1941＝55歳：書記官長就任以前からの親友であり、書記官長時代に自分が内閣の囑託に抜擢した尾崎秀実がゾルゲ事件で  
逮捕され、予審判事の尋問を受け、また、ファッション化のなか毅然とする盟友緒方竹虎の姿を見て、

近代の超克・1942＝56歳：**翼賛選挙への出馬を断念し、政界を引退。**

創価学会検挙1943＝57歳：東条と対決して憲兵隊の取り調べを受けた盟友中野正剛が自決し、

年金+総武装 1944＝58歳：尾崎秀実の死刑が執行されるのに苦悩、ソ連参戦を予言する論考を書くも公表できないうち、

敗戦・・・ 1945＝59歳：東大崎の自宅も空襲で厳しくなり、水海道に疎開。近衛から新政党結成の呼びかけあるも応ぜず。

新憲法公布・1946＝60歳：養父吉雄(長兄)が死去。戦犯になっても当然の意識で、自ら「門外に出ず」を課して閉居していたが、

新憲法施行・1947＝61歳：**公職追放**となり、GHQから呼び出されて、戦後初めて上京、近衛の遺族を弔問。

三大事件・1949＝63歳：**追放解除**となり、「近衛内閣」を出版。戦争への反省から、いわゆる逆コースの風潮に危機感を抱き、

独立回復・1951＝65歳：**\*日中国交回復**こそ自らがやるべきことと、高良とみらをモスクワでの国際会議に密かに出席させ、戦後初  
の日中間貿易協定を結ぶ衝撃を演出後、総選挙に当選して政界復帰、

メゲ-事件・1952＝66歳：打ち解散での総選挙にも、薄氷を踏みながら当選。無所属で一緒の原彪、有田八郎と意気投合し、\_日中  
貿易促進の決議を勝ち取り、貿易議員団の一員として新中国を初訪問、吉田首相に**日中国交回復**を訴え、

TV放送始・・・ 1953＝67歳：**日中国交回復**国民会議をつくって理事長、日ソ協会の副会長のほか、片山・有田らと、憲法擁護国民会議  
を結成して代表委員となり、アジア・アフリカ連帯委員会代表委員世界平和評議会評議員として活動。

自衛隊発足・1954＝68歳：**左派社会党**に入社し、総選挙に出馬して当選。盟友緒方竹虎の仕掛けでできた保守合同に対応して、統一  
社会党が成立すると、その顧問に就いて、戦前から180°の転換と話題になったが、

55年体制始・1955＝69歳：緒方竹虎が急逝。

国連加盟・1956＝70歳：**ソ連、モンゴル、中国、北朝鮮、ベトナムの五力国**を歴訪、周恩来、ホーチミン主席と会談。シベリア抑  
留中に死んだ近衛文麿の子文隆の墓参り。岸信介内閣の台湾政権支持、長崎国旗事件に反発し、

なべ底不況・1957＝71歳：生涯支援し続けてくれた斎藤茂一郎が死去。総選挙に連続当選。**女性平和運動家五人の質問状に、中島健  
蔵、細川嘉六、伊藤武雄と連名で中国への侵略に対する「反省の書」を発表。**

インスタントラーメン 1958＝72歳：体調を崩すも、

美智子妃・・・ 1959＝73歳：**病軀**をおして、安保闘争に参加、社会党幹部の議員総辞職論に反対し一喝、総選挙で当選を果たしたが、

安保闘争・・・ 1960＝74歳：腸骨がんなのため東大病院に入院、治療後退院するも、関東通信病院に入院し、**没した。勲一等授瑞宝章。**

たいがい病始・1961＝75歳：いばらきB00K9「評伝風見章」、インターネットWikipedia、